

ANAホールディングス株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種：航空運送業 ● 事業概要：航空事業を中心に旅行事業、商社事業などを展開 ● 事業規模[任意]：連結売上高(2018年度) 20,583億円
2.削減目標案	<p><Scope 1 の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>【削減目標】</p> <p>航空機からのCO2排出量削減を中心にICAO、IATAの定める目標およびWB2°Cシナリオを考慮した目標を設定する。(検討中)</p> <p>ICAO・・・2021年以降CO2排出量を増加させない (CORSIA)</p> <p>IATA・・・ 2050年に2005年度比で50%低減</p> <p>【取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低燃費機材の計画的導入 ・SAF*の調達 ・オペレーション上の改善 ・その他 <p>* SAF:サステナブルな航空燃料</p>

ANAホールディングス株式会社

項目	内容									
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none">● Scope 1・2・3の排出量の状況 <table border="1"><caption>GHG Emissions by Scope</caption><thead><tr><th>Scope</th><th>Percentage</th></tr></thead><tbody><tr><td>Scope 1</td><td>81%</td></tr><tr><td>Scope 2</td><td>1%</td></tr><tr><td>Scope 3</td><td>18%</td></tr></tbody></table>	Scope	Percentage	Scope 1	81%	Scope 2	1%	Scope 3	18%	<ul style="list-style-type: none">● SCOPE1 : [tCO2]
		Scope	Percentage							
		Scope 1	81%							
Scope 2	1%									
Scope 3	18%									
<ul style="list-style-type: none">● SCOPE2 : [tCO2]										
<ul style="list-style-type: none">● SCOPE3 : [tCO2]										

ANAホールディングス株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>【リスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 異常気象に伴う自然災害（台風や大雨）の発生頻度の増加による収入減少や施設損害拡大など経営に影響が発生する。 ● CO2排出量削減策としてのSAFおよび市場メカニズムの活用等による費用増となる。 <p>【機会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 低燃費機材の計画的な導入により、CO2排出量の削減と同時に燃料費が削減され収益の向上が見込める。 ● SAFの使用等環境に配慮した航空会社として位置づけを確立することにより、お客様の評価を獲得し、収入増が見込める。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● ANAグループはESG経営を促進し、グループ全体で環境負荷低減に向け取り組んでいる。 ● 特に航空機からのCO2排出量削減は重要な課題であり、自社グループの中長期目標を策定中である。

ANAホールディングス株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 2030年時点での事業環境変化が見通せない状況下、社会的要請に応じてバックキャストで目標設定を行うことへの認識の一致はマネジメントレベルで既に図られている。● グループ内関係部署での論議を経て、目標案を策定し、その目標案を経営会議で論議および了承を得たうえで、SBTイニシアチブへ提出する。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● グループ社員一人ひとりが目標、実施項目を理解し、長期に渡り一丸となって進められるよう職場に合わせたコンセンサス作りが課題である。